

より良い町にするため

10月21日、「第48回合同行政相談懇談会」が町民センターで開催されました。

年に1度、安平町がより良い町となる様にと地域の代表者が出席し、行政機関などに対し意見や要望を伝える懇談会です。

今回は、大雨時の河川増水に伴う洪水等への防災対策のほか、通学路内にある危険箇所に対する要望など、住民生活の安全について意見が交わされました。



連携強化で災害に対応

10月26日、安平駐屯地で安平消防秋季総合演習が実施されました。

車両火災に伴う施設への延焼を想定した模擬火災訓練では、見事な連携で消火活動が進められ、隊員からは「この様な訓練は非常に良い機会。万が一の事態に備えて気を引き締めていきたい」と火災発生多発時期に向け、実りある演習となったようです。



いじめはいらない

児童生徒がいじめについて考える「第3回安平町いじめゼロ子ども会議」が10月22日に早来町民センターで開催。

会議には町内の小中学校から児童生徒の代表者が出席し、いじめが起こる原因や見つけた時の対応などについての意見交換が行われました。

会話の中からは、「いじめは今後の人生に影響を与える。許されることではない。」などといじめ廃絶に向け、力強い声が聞けた会議となりました。



まちの仕事に触れた日

早来・追分中学校の2年生を対象とした、ふるさと教育・学社融合推進事業『職業体験』

取材・情報発信を体験

10月16日、早来中学校の佐々木隆弥さんは、役場で広報業務を体験。同じく町内の事業所で体験学習をしている生徒を取材しながら、写真の構図を考えて撮影するなど工夫も見られました。

「情報を伝えるのは大変だけれど面白かった」と広報マンとして一日を過ごしてもらいました。



学習』が実施され、生徒が自ら選んだ職業の現場でその業務を体験を通して、地域との関わりや将来について考えました。

責任の重さを実感

23日は、「行政の仕事に興味があった」という追分中学校の斉藤圭祐さんが、『一日教育長』を体験。辞令交付を受け教育長という肩書きを背負い「書類を見て判子を押すだけでも緊張した。責任感がとても必要な仕事だと感じた。」とのこと。

